

令和5年度門真市民文化会館及び門真市立市民交流会館
指定管理者総合評価

【評価対象年度】：令和4年度

施設のサービス水準の視点コメント

新型コロナウイルス感染拡大防止対策を講じつつ、前年度実施出来なかったイベントを少しずつ再開するなど、施設運営面において努力されていた。利用者アンケートによると、前年度に引き続き、設備や備品、職員の対応において、利用者からの評価が良好であることが伺える。今後においても、この良好な評価を維持しながら、引き続き利用者が安心して気持ちよく利用できる施設運営に努められたい。

収支状況 コメント

収入においては、時短営業等はなかったものの、新型コロナウイルス等の影響により予算額より下回っている。支出においては、同対策費用や物価高騰に伴う光熱費があったものの予算額より下回っていることに関し、最大限に努めたこと評価する。

感染症対策 コメント

本市の新型コロナウイルス感染症の拡大防止に係る要請について、迅速に対応できていた。自主事業及び指定事業においても、指定管理者で実施可否の判断を適切に行っていたことを評価する。今後は、マスクなしの利用者が主流となることが予想される中、各種大規模イベントの再開や利用者ニーズへの対応と感染症対策における、バランスのとれた運営を自主的に検討・実施することを期待する。

市による総合評価 コメント

物価高騰に伴う光熱費の高騰があったものの、支出全体では予算額を下回るよう工夫している点を評価する。
事業においては、様々な独立事業や共催協力事業を積極的に実施し、文化芸術の推進に努められていたことを評価する。特に、多くの市民と協働して事業を行う門真市文化芸術推進基本計画パイロットプロジェクト実行委員会に参画し、「KADOMA ART FES」開催へのサポートを行い、とりわけ外に向けた文化芸術事業を展開することができたことを評価する。

総合評価

B

総合評価区分凡例

- A：協定事項等を上回る水準で施設運営がされ、大変良好なサービスが提供されている
- B：概ね協定事項等の水準どおり施設運営がされている
- C：協定事項等の水準以下であった